

# 押井守が高校生だった1968年から始まる、 極私的映画史50年。



「1年に1本のみ」という縛りで選ばれたのは、  
いったいどんな作品なのか？  
押井監督が映画の半世紀を語りつくす！

『うる星やつら』『攻殻機動隊』『機動警察パトレイバー』等で知られる映画監督、押井守。幼いころから映画に親しみ、学生時代には映像芸術研究会を立ち上げて自主映画制作に熱中していた監督が、青年時代から今日へと至る半世紀の各年に公開された洋画・邦画から「これぞ!」という1本を現在の視点から選び、当時の社会情勢や自身のキャリアともからめつつ熱く語る。1年に1本というのがミソで、半世紀分の視差が編み出すその語りから、映画と、押井守の本質が浮かび上がっていく。

## 押井守の映画 50年50本

8/7  
配本

著者：押井 守

定価（本体 2,200 円 + 税） A5 判 / 320 ページ

### CONTENTS

- 1968：2001年宇宙の旅 ■1974：田園に死す
- 1978：SF / ボディ・スナッチャー ■1982：ブレードランナー
- 1986：ブルーベルベット ■1988：機動戦士ガンダム 逆襲のシャア
- 1992：レザボア・ドッグス
- 1994：インタビュー・ウィズ・ヴァンパイア ■1995：セブン
- 2003：殺人の追憶 ■2005：宇宙戦争
- 2008：ぼくのエリ 200歳の少女
- 2017：シェイプ・オブ・ウォーター などなど。

### PROFILE

映画監督。1951年生まれ、東京都出身。1977年、竜の子プロダクション（現：タツノコプロ）に入社。スタジオぴえろ（現：ぴえろ）を経てフリーに。『うる星やつら2 ビューティフル・ドリーマー』（84）、『機動警察パトレイバー』シリーズ（88～93）、『GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊』（95）、『アヴァロン』（01）、『立喰師列伝』（06）、『スカイ・クロラ The Sky Crawlers』（09）、『THE NEXT GENERATION パトレイバー』シリーズ（14～15）、『ガルム・ウォーズ』（16）などを手がける。

番線印	タイトル	ご注文数
	<p>[新刊]</p> <p><b>押井守の映画50年50本</b></p> <p>定価：(本体2,200円+税) ISBN978-4-8456-3444-6</p>	<p>新刊指定締切 7/22(水)</p> <p>冊</p>